

2016年11月13日

福音書からのメッセージ

しかし、あなたがたの髪の毛の一本も決してなくならない。忍耐によって、あなたがたは命を勝ち取りなさい。

(ルカによる福音書 21 章 18～19 節)

イエス様たちは、エルサレム神殿に到着しました。当時エルサレムというと、政治と宗教の中心地でした。その中にそびえたつ神殿です。それはそれは、立派なものだったことでしょう。彼らは、それまでに見たことのないものを見て、口々に「これはすごい」、「なんてすばらしいんだ」とつぶやきます。

しかしイエス様はそんな彼らに言いません。こんなに立派な神殿でも、所詮は人間のつくったもの。いつかは必ず崩れるのだと。

たくさんの自然災害のニュースを見るたびに、このイエス様の言葉が響いてくるように思えます。自分の支えとしていたものが、あっという間に崩れてなくなってしまふ現実を、わたしたちは何度も目の当たりにしてきました。わたしたちは時々、人間の知恵は神さまをも超えると過信することもあります。しかしそれらはすべて崩れていくのです。

そして崩れるのは、建物だけではありません。人の心でさえも、ちょっとしたことで簡単に崩れてしまいます。新聞やテレビには、毎日のように心のバランスを崩して、悲しい事件を起こしてしまった人のニュースが流れます。しかしそれは決して他人事ではありません。わたしたちの周りにも、そのような人はいるのです。そしてわたしたち自身の心も、同じようにいつ崩れてもおかしくないのかもしれない。

ではなぜ、崩れてしまうのでしょうか。それは土台がしっかりしていないからなのです。人間の作った物により頼み、自分



の力だけで生きているからなのではないでしょうか。

イエス様はそのようなわたしたちが命を得て生きる者となるために、忍耐をするようにと言われます。忍耐という言葉には、あるもの下にじっとしておくという意味があります。忍耐しなさいとは、しっかりした土台の上に立ち、そこから離れずに踏みとどまりなさいという命令なのです。

わたしたちの土台、それは神さまです。わたしたちが悲しみの中に叩き落され、苦難に襲われようとも、神さまの元から離れないようにと、イエス様は励まされているのです。

そしてイエス様は、同時にわたしたちに約束してくださいます。「あなたがたの髪の毛の一本も決してなくならない」。わたしたちを神さまは、ずっと守ってくださるのです。何があっても、恵みを注ぎ続けられ、愛を与え続けられるのです。

その言葉を信じ、神さまにすべてを委ねて歩いていきましょう。

桃山基督教会

〒612-8039

京都市伏見区御香宮門前町 184

TEL/Fax 075-611-2790

メール momoyama.kyoto@nssk.org

<教会ホームページ>

<http://momoyama.hannari.com/>